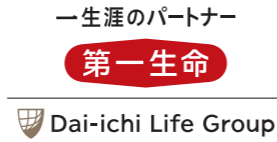


第一生命は、慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボとの共同研究により「中小企業向けSDGsガイドライン」の作成に取り組めます。



＜共同研究プロジェクトの概要＞

アンケート



集計・反映



中小企業向けSDGsガイドライン

より多くの中小企業の声を反映し、すぐの実施できるわかりやすいガイドラインを作成。

経営者の皆さまの声をぜひお聞かせください！

※アンケートの個人情報は第一生命が管理し、個人情報を除いた分析結果を慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボに提供し、共同研究の材料として活用させていただきます。

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボとは

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボでは、社会諸問題を解決するためにSDGsという切り口から、企業との共同研究や産官学連携により個別課題を掘り下げ、アカデミアの枠を超えたソリューション指向の研究を実施し、SDGsのベストプラクティスを創出・集積します。



<https://xsdg.jp/#about>



ラボ代表 慶應義塾大学大学院 蟹江憲史教授
 専門は国際関係論、サステナビリティ学、地球システム・ガバナンス。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。博士(政策・メディア)

経営者の皆さまに、アンケートのお願い



何から始めればいいんだろう？

経営にどんなメリットがあるんだろう？

慶應義塾大学 SFC研究所 × 第一生命 xSDG・ラボ

アンケート

中小企業のSDGsのいま

どうすれば社員に理解してもらえよう？

他社の取り組み状況は？

お聞かせください！

御社のSDGsへの考え、取り組み

この度、慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボと第一生命の共同研究により、中小企業向けSDGsガイドラインを作成することとなりました。中小企業向けSDGsガイドライン作成にあたって一社一社の経営者さまの声を、ガイドラインに反映することで、皆さまに役立つものになりたいと考えています。集計結果は第一生命のホームページでお伝えするとともに、官公庁・自治体などにも連携するなど、広くSDGsの推進活動に活かしてまいります。

アンケートの回答はこちら



お知り合いの経営者をご紹介ください

できるだけ多くの経営者の皆さまの声を反映したいと考えています

紹介記入欄 お知り合いの経営者をご紹介ください。(差し支えない範囲でご記入ください。)

会社名	氏名	連絡先	紹介先への連絡
			済
			済

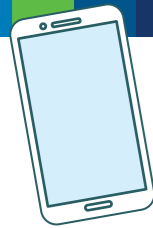
お願い 紹介いただく際は、第一生命の生涯設計デザイナーから連絡があることをお伝えいただいたうえでご記入ください。お知り合いの方の情報は、必ず本人の同意・承諾を得たうえでご記入ください。

引受保険会社

第一生命保険株式会社

〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
 電話 (03) 3216-1211 (大代表)
 ◎ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

お届けしたのは…



スマホでアンケートサイトにアクセス後、下記の **A** ~ **D** の図を見ながらご回答ください。

A SDGsとは

SDGsの17の目標は「未来の世界のかたち」
その取り組みは「世のため・人のため・未来のため」

環境に役立つ



例えば

脱炭素、脱プラスチック、省エネ、節水、節電、太陽光エネルギー、再生可能エネルギー、リサイクル、ペーパーレス化、廃棄物削減

人に役立つ



例えば

健康経営、人材育成、女性活躍推進、男性の育児休暇取得推進、仕事と育児・介護の両立支援、障がい者雇用、外国人雇用

経済社会に役立つ

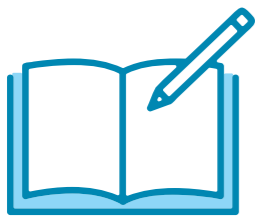


例えば

食品ロス削減、災害対策、開発途上国に貢献する事業、フェアトレード、ハラスメント撲滅、事業承継対策

B SDGsの取り組みステップ

まなぶ



SDGsとは「世のため・人のため・未来のため」ということ、SDGsに取組むメリット・取組まないデメリットを理解する。

しらべる



すでに取組んでいるSDGsの洗い上げを行い、会社としての優先順位を踏まえ、SDGsの具体的取組みを決定する。

おこなう



「いつ・だれが・どのように」行うか、スケジュール・目標を策定し、実行する。

第一生命は全国に広がるネットワークを活用し、アンケート調査など地域の課題解決に取り組んでいます。

第一生命では、記入いただいた内容を以下の業務などに活用します。

● 関連会社・提携会社を含む各種商品・サービスの案内・提供 ● 第一生命の業務に関する情報提供・運営管理

※各種商品・サービスの詳細は、第一生命ホームページ(<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>)でご覧いただけます。

※アンケートの個人情報は第一生命が管理し、個人情報を除いた分析結果を慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボに提供し、共同研究の材料として活用させていただきます。

C SDGsに取組むメリット(チャンス)

環境、人、経済社会の課題を見つけて、SDGsに取組む

ひろがる

取引先や顧客・採用が広がる



もうかる

売り上げが拡大する



やくにたつ

社会に貢献できる



Point

SDGsの取組みは、あらゆるステークホルダーへのアピールポイントとなり、新規取引の増加や売り上げの拡大が期待できます。また、就職にあたって企業の社会貢献度を重視する人も多いことから、人材確保につながりやすくなります。

D SDGsに取組まないデメリット(リスク)

SDGsに取組まないことで、負の影響を受ける

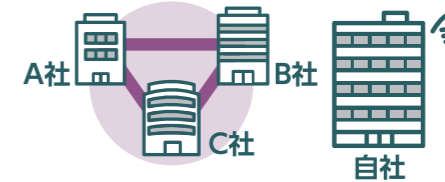
あつまらないリスク

求人の応募・資金があつまらない



えらばれないリスク

自治体・取引先・顧客・サプライチェーンからえらばれない



きづかないリスク

社会課題解決などの新たなビジネスチャンスや将来発生するリスクにきづかない



Point

企業の社会貢献度が重視されているため、ステークホルダーからの支持が得られにくくなります。その結果、顧客や取引先の開拓、採用活動など、さまざまな経営上のデメリットが生じる可能性があります。